

湯野こども園の教育・保育

子どもたちが、この世で一番大切にされていることを心から感じることができるよう、子ども一人ひとりの気持ちをしっかりと受け止め、信頼感を築きます(安全)。

子どもたちが身近な環境を通して、生き生きと目を輝かせ様々な活動に取り組み、試行錯誤を繰り返す中で(自然)、人との関わりを楽しみながら社会性や人間性を育てていく(積善)子ども主体の教育・保育を大切にし、生涯の学びを支える力を育てます。

自己肯定感を育む

一人ひとりの気持ちを受け止め、温かく丁寧な関わりを大切にしています。

主体的に環境に関わり遊び込める子に…

「こうしたら、どうなるかな?」「やってみよう!」という心の動きや育ち、挑戦してみようとする姿を見守り、繰り返し経験できる環境を用意しています。

表現

鼓隊演奏

子育て支援

園開放
育児相談

ことば

発表会・劇遊び
絵本大好き

ネイチャーゲーム

子どもたちが、五感を働かせ自然を直接体験することで、自然の不思議さや大切さに気づき、豊かな心を育み、のびのびと成長するための土台を作ります。

バス園外

姉妹園の中海こども園と共同所有の園バスにて、近隣の児童館や公園、公共施設はじめ季節・活動に合わせ様々な場所に出かけ、自然に触れたり、体を動かしたり、体験活動をしたりします。

いつか大きな木になるために

乳児保育

乳児期に愛されている喜びを十分に味わうことで人に対する基本的信頼感が育まれ、自己への自信や人への思いやりに繋がります。また、乳児期は病気に対する抵抗力が弱く、発達や発育の個人差も大きいので、家庭との密接な連携を図り、一人一人の状態に合わせた、きめ細やかで手厚い保育を行います。

根っこをそだてる大切な時期

～感じる心を大切にしたい～

様々な人との関わりの中で、相手の思いやきまりの大切さに気づくなど、道徳性の芽生えを認め、心の育ちを支えます。

食への興味関心が広がる楽しい食事

子どもたちが食べることの楽しみや食への興味関心を持てるように様々な食育活動に取り組んでいます。

- ①日本の伝統行事や地域行事を大切にし、それにまつわる食の文化も大事にしていきます。
- ②子どもたちが栽培し、収穫した野菜をその日のうちに調理し、新鮮なものを味わうことで五感が刺激され、食に対する興味関心が一層育まれ、それが食を営む力の源になっていきます。
- ③湯野こども園ならではののびいきり楽しい食事の提供をします。

自然が育む大事な命…
豊かな自然に囲まれたこども園には
不思議体験や発見がいっぱい

ゆの山は子どもたちの宝島

四季折々のゆの山の自然の中で、虫探しやどんぐり拾い、冬には雪遊びと、思う存分自然を体験し、楽しさを通して五感を育み、活動しています。

自然に触れ、深い感動体験を重ねることにより、豊かな感性を育みます。自然から学ぶ心を大切にします。

人のかかわり・地域のかかわり

九谷焼

地域の文化を大切に…

大好きだよ みんなのふるさと

地域の方と関わりながら、九谷焼をはじめとした様々な文化や自然、風土に触れ、人と関わる力や故郷を愛する豊かな感性を育みます。

特色ある保育

卒園制作の陶芸体験では、粘土から形成し、絵付けまでを行います。伝統工芸に触れ、感性豊かに表現活動を楽しみます。

国際交流
異年齢交流
スポーツ教室

栽培

四季折々の野菜を栽培します。子どもたちと共に、水やりや草むしりを通し、その成長に関心を持ったり収穫を喜んだりします。また、採れたての野菜の旬の味を即日調理して味わったり、余すことなくいただいたりする経験を通して、食の大切さや命をいただくことのありがたみ、残さず食べようとする気持ちなどを育みます。

SDGsの取り組み

社会福祉法人大和善隣館はSDGs宣言をしています。節電・節水など子どもたちと共に取り組めることを話し合い、取り組んでいます。

湯野こども園



園の概要

1. 沿革 令和6年 能美市公立保育園民営化事業により
幼保連携型認定こども園として運営を開始
2. 定員 205名
3. 職員 園長、教頭、主幹保育教諭、保育教諭、養護教諭、看護師
栄養士、調理師、保育補助、事務員
4. 開園時間 午前7時30分～午後7時
基本の教育・保育時間は認定区分によって異なります
5. その他保育事業 延長保育、一時預かり、子育て支援事業、体調不良児保育
障がい児保育

社会福祉法人大和善隣館は



SDGs宣言します



1. 園児への教育や保護者への子育て支援並びに児童の健全育成と保護者支援に取り組んでいます。



4. 仕事と家庭の両立、および意欲的、継続的に働くことのできる職場環境の実現を推進します。



2. 女性が活躍するための教育や人材育成の機会を提供し女性のエンパワーメントを推進します。



5. 安全で快適な施設整備、防災教育、地域連携等により園児・児童の安全の確保を推進します。



3. 太陽光発電活用等を通じてCO₂排出の削減に努めます。



6. ICTを活用したペーパーレス化及び食品ロスの削減を推進します。

〒923-1112 能美市佐野町ワ35番地

TEL 090-4488-1384

大和善隣館ホームページ <https://www.daiwazenrinkan.com>

※「湯野こども園」HP公開のため開設準備中

教育・保育理念

『善隣のこころ』

“いつでも どこでも そしてだれにでも われ等 善き隣人たらん”

教育・保育方針

三つの『ゼン』

- 『安全』安全への心くばりをすべての子どもが「安全」に過ごせる心くばりを行ないます。
- 『自然』自然に学ぶところをすべての子どもに「自然」の大切さを気付かせていきます。
- 『積善』積善への意識づけをすべての子どもの「積善」への努力を認めていきます。

教育・保育目標

- 『心も体も元気な子ども』
- 『感性豊かで意欲のあるこども』
- 『関わる力と思いやりのある子ども』